

令和4年度教員活動状況評価結果について

令和5年10月23日

○本学教員活動状況評価に関する規程 及び 同実施細則に基づき、教員活動状況評価を実施しました。
当該評価の集計結果は、以下のとおりです。

◇評価結果

【総合評価】

全学		
S	18	(9.3%)
A	46	(23.8%)
B	124	(64.2%)
C	3	(1.6%)
D	2	(1.0%)
計	193	

【領域評価】

<教育>

全学		
A	38	(20.8%)
B	136	(74.3%)
C	9	(4.9%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	183	

<社会活動>

全学		
A	41	(22.0%)
B	119	(64.0%)
C	19	(10.2%)
D	7	(3.8%)
評価対象外		
計	186	

<センター等業務(コーディネート)>

全学		
A	3	(75.0%)
B	1	(25.0%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	4	

<センター等業務(調査研究・研究開発等)>

全学		
A	4	(57.1%)
B	3	(42.9%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	7	

<研究>

全学		
A	53	(28.8%)
B	96	(52.2%)
C	27	(14.7%)
D	8	(4.3%)
評価対象外		
計	184	

<管理・運営>

全学		
A	46	(26.1%)
B	122	(69.3%)
C	7	(4.0%)
D	1	(0.6%)
評価対象外		
計	176	

<センター等業務(学生指導・学生支援等)>

全学		
A	2	(18.2%)
B	9	(81.8%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	11	

<センター等業務(企画立案・管理運営等)>

全学		
A	6	(46.2%)
B	7	(53.8%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	13	

(単位:人)

※端数処理の都合上、各評価の割合の合計が100%にならない場合がある。

(評語等の説明)

- S: 活動状況が極めて良好である
- A: 活動状況が大変良好である
- B: 活動状況が良好である
- C: 活動状況がやや不十分である
- D: 活動状況が不十分である

※領域評価において採用期間や教育免除等の特段の理由がある場合、「評価対象外」としている。

◇評価対象者

専任の教授、准教授、講師、助教

※学部長を含む。

※採用から3年未満の教員について、配置が学部の場合は学部長、全学センターの場合は学長が指名する者が学長の了承を得て、本評価の対象者から除くことができる。ただし、年俸制給与規程の適用を受け在職期間が1年以上の教員については、対象とする。

◇評価項目

教育、研究、社会活動、管理・運営の各領域

※ただし、教員の職務内容の特殊性を鑑み、全学センターの教員及び学部の一部の教員に限り、以下の領域に全て又は一部を差替えることができる。
(細則第5条第1項)

センター等業務(コーディネート)、センター等業務(学生指導・学生支援等)、
センター等業務(調査研究・研究開発等)、センター等業務(企画立案・管理運営等)

◇対象期間

教育、社会活動及び管理・運営領域・・・過去3年

研究領域・・・・・・・・・・・・・・・・・・過去5年

各センター等業務・・・・・・・・・・・・過去3年